

「みんなでてっぺい」

— 子どもたちのための宇佐中ブロック小中学校連携の取り組み —

1. 目的

小中学校9年間を見据えて、子どもたちが楽しく学校生活を送れるように、宇佐ブロック3小学校1中学校が、共通理解した生活・学習ルールをもとに指導を進めていく。

2. 内容

(1)生活

- ①あいさつ指導…気持ちよいあいさつができるよう、あいさつ指導を継続的に行う。
- ②時間を守る …チャイムと同時に学習や活動を始める。
- ③そうじ指導 …必要以外は無言でそうじをするよう指導する。
- ④静かな移動 …廊下や階段を歩くこと、授業と授業の間の教室移動を静かにするよう指導する。
- ⑤帽子、ヘルメットの着用
…安全のために、登下校時に小学生は帽子を、中学生はヘルメットを着用するよう指導する。

(2)学習

- ①授業改善 …子どもの学び合いを保障する。
1時間完結授業と板書とノートの一体化
- ②姿勢の指導 …背筋を伸ばして正しい姿勢で座るよう指導する。
- ③聞き方・話し方
…授業で発表者の方に体を向けて、話を聞く、聞く側の方を向いて話をする。教師に対して自分の考えを発表しているのではなく、子どもどうして学び合っているという意識を持たせる。
- ④正しい言葉遣い
…授業で使う言葉の指導を行う。授業以外と区別するよう意識させる。
教師自身も区別して話しかけるよう気をつける。
- ⑤家庭学習の徹底
…宿題は必ず家庭ですて来るという習慣を身につけさせる。
宿題忘れは、休み時間や放課後にさせ、必ず家庭に伝える。
家庭での読書や自主学習を位置づけ、取り組ませる。

(3)取り組みの交流

2回目のブロック学年部会の時に、上記内容についての情報交換を行い、取り組みの見直しを図っていく。